

まずは ご相談ください

どんな病気でもそうですが、認知症も早く見つけて適切な対応をとることで、進行を遅らせることができます。

また、早く対応すれば、本人にとっても家族にとっても、それ以後の生活は大きく変わります。

高齢者なんでも相談窓口

□中央地域包括支援センター
隈庄手・竹田・田島・豆田
☎23 2552

□西部地域包括支援センター
光岡・三花・小野・朝日・大鶴・夜明
☎26 0036

□東部地域包括支援センター
五和・高瀬・三芳・西有田・東有田
☎22 0248

□南部地域包括支援センター
前津江・中津江・上津江・大山・天瀬
☎57 9012

専門医療相談 (大分県認知症疾患医療センター)

□上野公園病院
(上野町2226-1)
☎23 6603

気になることがある場合は
抱え込まずに
早めに相談しましょう

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない



関わりの基本姿勢

認知症の症状には、本人が最初に気付くことが多いと言われています。今までできていたことができなくなったり、言われても思い出せなかったりすることが徐々に増えてくることで、不安を感じ始めます。

誰よりも心配し、苦しみ、悲しんでいるのは、認知症になった本人であるというのを思い、接することや、ふだんからお互いにあるさつや声を掛け合うことが大切です。

接し方は？

認知症は
誰にでも起こりうる
「脳の病気」です

～認知症の人と家族が、住み慣れた「日田」で安心して暮らし続けるために～

「認知症」について 考える

皆さんは、「認知症」という病気についてご存知ですか？
高齢者の増加に伴い、2025年には、高齢者の約5人に1人が認知症になると言われています。市の現状は、介護認定調査票によると2,743人が認知症高齢者であり、高齢者の約8人に1人と推計されます。(平成28年度末)

認知症に対して正しい知識をもち、私たちが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためにはどうしたらいいか、考えてみませんか。



☎長寿福祉課長寿福祉係 ☎22 8299 (市役所1階)

どんな病気？

認知症は、年をとればとるほどかかりやすくなる病気ですが、単に「年のせい」ではありません。いろいろな原因で脳細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしてしまったりするために、様々な障害が起こり、日常生活を営む上で支障が出てきます。またこの状態がおよそ6か月以上継続している状態のことをいいます。

認知症は、「アルツハイマー型認知症」「脳血管性認知症」「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」など、原因によって分けられ、それぞれに合ったケアが必要です。

症状は？

認知機能が損なわれ、記憶や判断力、時間や場所の認識が困難になります。

さらに、このような症状に性格や環境などが関係することによって、「徘徊」や「ものごしらえ妄想」などが引き起こされることもあります。



早期発見の目安

いくつか思いあたることがあれば、早めに相談してみましょう。

- 物の忘れがひどい
- 判断・理解力が衰える
- 時間・場所が分からない
- 人柄が変わる
- 不安感が強い
- 意欲がなくなる

「もの忘れ」との違いは？

年齢を重ねると「もの忘れ」が増えるのは、脳の老化に伴うものです。一方、認知症は脳の病気による症状のため、老化による「もの忘れ」とは大きな違いがあります。

※記憶障害の症状には個人差があります。

	加齢によるもの忘れ	認知症
特徴やイメージ	体験の一部を忘れる。 ヒントがあると思い出せる。 例：何を食べたか思い出せない	体験の全てを忘れる。 ヒントがあっても思い出せない。 例：食べたこと自体を忘れる
人格	変化しない	変化する (怒りっぽくなる、無関心になる等)

在宅介護者の集い

在宅で認知症の人を介護している家族や介護者を対象に「在宅介護者の集い」を開催しています。

今回は「認知症と向き合う」のDVDを見ながら、同じ悩みを持つ仲間と話しをしてみませんか。

- とき
10月16日(月) 午後1時～3時
- ところ
アオーゼ2階 会議室1
- 募集数
50人

入場無料

予約不要

オレンジフェスタin日田

「レビー小体型認知症とは」と題した講演会を開催します。

- とき
10月18日(水) 午後7時～9時
(受付 午後6時30分～)
- ところ
パトリア日田 小ホール
- 講師
上野公園病院 診療部長 大神博央 先生
- 上映
妻の病ーレビー小体型認知症ー
- 募集数
300人